

科目名	はり実技 1							年度	2026
英語科目名	Needle Practice 1							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 1年次	必/選	必	時間数	45	単位数	1	種別※	実技
担当教員	安藤亮・安齋勉	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】 鍼施術における基本的な刺鍼技術や動作・手技を身に付ける。									
【科目の概要】 鍼施術における基本的な刺鍼技術や動作・手技を身に付けるための練習、実践を行う。									
【到達目標】 A. 片手挿管法がスムーズに行えるようになる。 B. 刺鍼の角度・深度が調節できるようになる。 C. 刺鍼中の手技（十七手技）を理解し、適切に行える。 D. 消毒などの衛生操作が適切に行える。 E. 自己刺鍼・対人刺鍼が安全に行える。									
【授業の注意点】 ・授業日数の4分の3以上を出席しなければ実技試験が受けられない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	15回以上/分できる	12回以上/分できる	10回以上/分できる	8回以上/分できる	8回以上/分できない				
到達目標 B	直刺90°、斜刺45°、水平刺20°未満の打ち分けが確実にでき、刺入深度の調節もできる。	刺入角度、刺入深度にたまたま誤差が生じる。	それぞれ5°以内、0.5cm以内の範囲であれば打ち分けができる。	それぞれ5°以上、0.5cm以上の範囲で誤差が生じる。	大幅に誤差が生じる。				
到達目標 C	十七手技、すべての手技を理解し、十七手技すべてを実践できる。	十七手技、すべての手技を理解し、大部分の実践ができる。	十七手技、すべての手技を理解している。	似ている手技の理解が曖昧である。	手技の理解ができていない。				
到達目標 D	衛生操作が完璧にできている。なぜ行うのかを理解できている。	理解は曖昧な部分もあるが、衛生操作は完璧にできている。	衛生操作がしっかり行えている。	順序に迷いがある。	理解できておらず、不備がある。				
到達目標 E	刺鍼対象を丁寧扱っている。安全面の配慮もできている。	少し丁寧さに欠ける部分もあるが大きな問題はなく安全に行っている。	丁寧さ、安全面に多少の不安定さがある。	刺鍼対象への配慮に欠ける。	理解できておらず、不備がある。				
【教科書】 東洋療法学校協会 はりきゅう実技<基礎編>									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 実技試験で100%評価する。 出席状況や授業の取り組みが優秀なものには加点をすることもある。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		はり実技 1			年度	2026
英語表記		Needle Practice 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	1年次に行う内容、身に付ける技術を理解する	1 前期授業内容説明 到達目標提示	前期に扱う内容を理解し、どこまでの技術を習得するのかを理解する	2	
2	片手挿管法練習	片手挿管法の手順を理解する	1 片手挿管法説明と練習	片手挿管法の手順を理解し、正確に行える	2	
3		片手挿管法がスムーズに行えるようになる	1 片手挿管法を1分間に8回できるようにする	自主練習を行い、1分間に8回を目標にできるようになる	2	
4	片手挿管法実技試験①：片手挿管法	片手挿管法が適切に、スムーズに行えているか評価する	1 片手挿管法を1分間に8回以上、正確に行えているかを評価する	片手挿管法を正確に行い、1分間に8回以上できる	1	
5	直刺・斜刺・水平刺	それぞれの角度に打ち分けができるようになる	1 直刺	刺鍼練習台に90° に刺入できる	2	
			2 斜刺	刺鍼練習台に45° に刺入できる		
			3 水平刺	刺鍼練習台に20° 未満に刺入できる		
6		それぞれの角度に打ち分けができるようになる	1 直刺	刺鍼練習台に90° に刺入できる	2	
			2 斜刺	刺鍼練習台に45° に刺入できる		
			3 水平刺	刺鍼練習台に20° 未満に刺入できる		
7	十七手技と自己刺鍼	十七手技を理解し、適切に行える 安全に自己刺鍼ができる	1 十七手技	十七手技を理解し、適切に行える	2	
			2 衛生操作	自己刺鍼時に必要な消毒等の手順を適切に行える		
			3 自己刺鍼	痛くなく安全に刺鍼できる		
8		十七手技を理解し、適切に行える 安全に自己刺鍼ができる	1 十七手技	十七手技を理解し、適切に行える	2	
			2 衛生操作	自己刺鍼時に必要な消毒等の手順を適切に行える		
			3 自己刺鍼	痛くなく安全に刺鍼できる		
9	十七手技と対人刺鍼	十七手技を理解し、適切に行える 安全に対人刺鍼ができる	1 十七手技	十七手技を理解し、適切に行える	2	
			2 衛生操作	対人刺鍼時に必要な消毒等の手順を適切に行える		
			3 対人刺鍼	痛くなく安全に、丁寧に刺鍼できる		
10		十七手技を理解し、適切に行える 安全に対人刺鍼ができる	1 十七手技	十七手技を理解し、適切に行える	2	
			2 衛生操作	対人刺鍼時に必要な消毒等の手順を適切に行える		
			3 対人刺鍼	痛くなく安全に、丁寧に刺鍼できる		
11	実技試験②：片手挿管法、直刺	片手挿管法、直刺が適切に行えているか確認する	1 片手挿管法	1分間に10回以上できる	1	
			2 直刺	1分間で2cm以上、90° の刺入ができる		
			3 実技試験	実技試験にふさわしい身なり、所作ができる		
12	実技試験③：斜刺・水平刺	斜刺と水平刺が適切に行えているか確認する	1 斜刺	45° で1.5cm～2cmの刺入ができる	1	
			2 水平刺	30秒で1.5cm以上、20° 以下の刺入ができる		
			3 実技試験	実技試験にふさわしい身なり、所作ができる		
13	実技試験④：対人刺鍼	対人刺鍼が適切に行えているか確認する	1 直刺	1分間に10回以上できる	1	
			2 衛生操作	対人刺鍼時に必要な消毒等の手順を適切に行える		
			3 実技試験	実技試験にふさわしい身なり、所作ができる		
14		対人刺鍼が適切に行えているか確認する	1 直刺	1分間に10回以上できる	1	
			2 衛生操作	対人刺鍼時に必要な消毒等の手順を適切に行える		
			3 実技試験	実技試験にふさわしい身なり、所作ができる		
15	実技試験フードバック	今期の到達度の振り返りをし、来期に活かす	1 実技試験結果を個別にフィードバックし、今期の振り返り行う	前期の自身の到達度とこれからの課題を理解する	2	

評価方法：1. パフォーマンス評価 2. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等